



©Kazuyoshi Nomachi

「海外ドキュメンタリーの実際」 野町和嘉氏に訊く

日時 2011年10月27日(木) 14:30~16:30 (14:00 受付開始)

会場 JCIIビル 6階会議室 (東京都千代田区一番町 25番地)

参加費 一般 500円 / JPS会員・学生 無料 (定員 100名 : 要予約、定員になり次第締め切ります)

講師 野町和嘉氏 (写真家・JPS会員) 聞き手 竹田武史氏 (写真家・JPS会員)

中近東、アジア、そして南米へ…世界各地で取材活動を続け、発表している野町和嘉氏。様々な国や地域の人々の姿を追いつけた氏の軌跡は、日本の写真界にとっての大きな業績であると同時に、これから世界を向いて活動をもくろんでいる多くの若い写真家にとっての憧れであり、大きな目標でもあります。

今回のセミナーでは、野町氏に最近取り組んでいるテーマをご紹介頂くだけでなく、若手代表として、中国をメインのフィールドとして丹念に取材を続ける竹田武史氏を聞き手において、海外ドキュメンタリーの現場について、さらにこれからのフォト・ドキュメンタリーのあり方について熱く語っていただきます。

プロフィール

野町和嘉 (のまち・かずよし)

1946年、高知県生まれ。杵島隆氏に師事した後に、フリーとなり、1972年にサハラ砂漠に旅したことをきっかけにナイル、エチオピア、グレート・リフト・バレーなどのアフリカ乾燥地帯の取材する。80年代後半より舞台を中近東、アジアに移し、中国、チベット、サウディアラビアなどで長期取材を経て、2002年以降アンデスに取り組む。国内外で多数の写真集を発表。写真展も多数開催。

竹田武史 (たけだ・たけし)

1974年京都生まれ。同志社大学神学部卒業。在学中から写真家・井上隆雄氏に師事。1997年から5年間、日中共同研究プロジェクト「長江文明の探究」に記録カメラマンとして参画。以来、日本文化の源流といわれる西南中国の民族文化、自然に興味を持ち、取材を続ける。2006年から取材した「茶馬古道」による作品で第12回コニカミノルタ「フォト・プレミオ」年度賞を受賞。

申込み方法 : FAX またはメールで事務局までご連絡ください FAX : 03-3265-7460 / Mail : info@jps.gr.jp

フリガナ

氏名

住所

勤務先・学校名

連絡先電話番号

いずれかにチェックをいれてください

JPS 会員 一般 学生

今後日本写真家協会のセミナー情報を希望しますか?

はい いいえ

*お申込みの際にいただいた個人情報は、セミナー及び研究会等の開催案内の目的のみに使用させていただきます。